斐太北

妙高市立斐太北小学校
令和　8年　9月　29日
TEL 0255-72-2629
myokohidakita-es@edu-niigata.ed.jp
ホームページ

夢のバトンを受け取り、「自分でぐんぐん」へ



9月 25 日（金）、斐太北小学校の卒業生で、日本文理高校野球部3年生の黒石新汰さんをお迎えし、「夢のバトン講演会」を開きました。黒石さんのご家族、地域の方、CS の皆さんも会場に足を運んでくださいました。

黒石さんは今年、甲子園の舞台に立ちました。しかし、お話の中で子どもたちに伝えてくれたのは、華やかな結果だけではありませんでした。 小学3年生で野球を始めた頃は、練習に行くのが面倒で、野球もそれほど好きではなかったそうです。それでも、少しずつ「できた！」という経験を重ね、野球が好きになっていったそうです。中学・高校では思うようにいかない時期もありましたが、仲間や家族に支えられながら、自分に足りないものを考え、挑戦を続けられたそうです。

子どもたちから「中学校の頃を振り返って、後悔していることはありますか」と尋ねられると、「体が小さかったので、もっと食べて体づくりに励めばよかった」と率直に答えてくれました。また、甲子園を目指す中で取り組んだことを問われると、いざというときに力を発揮できるように準備してきたこと、県選抜でキャッチャーとして何度も盗塁を阻止して自分の強みを発揮できた手応えを話してくれました。



自分のよさを見つけて生かす。
苦しかったことや、もっとできたと思うことを振り返る。
そして、次の一歩を選ぶ。



本物の甲子園の砂に大興奮！
いただいたサインや言葉は、体育館廊下に掲示してあります

この講演会を、9月 28 日（月）から始まる「自分でぐんぐん（単元内自由進度学習）」の前に位置付けたのは、子どもたちに上記の姿を、身近な先輩の生きた言葉から感じてほしかったからです。 その意味でも、とても素敵な講演会となりました。

「自分でぐんぐん」は、子どもが学ぶ教科や課題、取り組む順番を考え、計画を立てて進める学習です。低・中学年は国語と算数、高学年は算数と社会を組み合わせて取り組みます。**学校が育てたいのは、自分で選ぶ、やり抜く、振り返る力**です。計画どおりに進む日もあれば、思うようにいかず、やり方を変える日もあるでしょう。その時に「次はどうしよう」と考えることも、大切な学びです。

黒石さんは最後に、「好きなことや少し気になることに、まず一歩踏み出してみてほしい」と語っていました。

先輩から受け取った夢のバトンを、子どもたち一人一人の学びにつなげていきます。保護者・地域の皆様にも、結果だけでなく、子どもが何を選び、どう取り組み、何に気付いたかを、一緒に見守っていただければ幸いです。「自分でぐんぐん」の期間中は、いつでも学習の様子をご覧いただけます。

子どもたちの夏休み課題が表彰されました

長期の休みを生かしてじっくり取り組んだ作品が表彰されました。入賞の有無にかかわらず、保護者の皆様から温かな声掛けや、アドバイスをいただき、素晴らしい作品になったと思います。ありがとうございました。



★令和８年度妙高市児童・生徒理科作品展

模型工作の部　　金賞　３年　横杉　　想「横型信号機」
標本（植物）の部　金賞　４年　平澤　和花「植物標本」

★環境ポスターコンテスト

２年　石田　ゆう（審査員特別賞）
４年　榊　あまね（優秀賞）
４年　霜鳥　湊斗（佳作）
５年　石田　和華（会長賞）
５年　峯村　結衣（佳作）
６年　鹿住　光李（最優秀賞）
６年　石田　大登（佳作）

外国語指導の ALT の交代

７月に、ALT キャルビン先生の斐太北小学校での最後の授業が行われました。１年間という短い期間でしたが、毎回楽しい外国語の授業をしてくださいました。８月よりALT エヴァ先生が、斐太北小学校にいらっしゃいました。出身はスロベニアです。子どもたちは、興味津々でエヴァ先生の自己紹介を聞いていました。今後は、エヴァ先生と一緒に楽しく外国語と触れ合えることでしょう。





ALL 妙高あいさつ運動実施中

ALL 妙高あいさつ運動にご協力いただき、ありがとうございます。お陰様で当校の登下校では無事故を維持しております。今後も、できる範囲であいさつ・見守りを行っていただき、子どもたちの安全確保にご協力ください。

～10 月の主な予定～

１日（木）親善陸上大会（５・６年）
　　全校５限後下校
２日（金）親善陸上大会予備日
　　全校５限後下校
４日（日）山城の陣
５日（月）ﾘｽﾞﾑづくりﾁｬﾚﾝｼﾞ①（～９日）
　　全校給食後下校（13:05）
６日（火）読み聞かせ
８日（木）５年生防災教育（３・４限）
９日（金）クラブ活動④
１２日（月）スポーツの日
１３日（火）マラソンコース練習開始
１４日（水）５年生自然体験教室①
１５日（木）５年生自然体験教室②
　　スクールカウンセラー訪問日
１６日（金）自分でぐんぐん全体会
２０日（火）３年生校外学習（消防署）
２１日（水）委員会⑥
２２日（木）就学時健康診断
　　１～４年給食後下校（13:10）
２３日（金）クラブ活動⑤8 年度最終
２７日（火）高学年食育指導
　　６年校外学習
　　（直江津捕虜腫収容所）
２９日（木）フレンドミッション
３０日（金）フレンドミッション予備日

お子さんの成長に関するアンケートの結果をお知らせします

保護者の皆さんに、１学期の「お子さんの成長に関するアンケート」にご協力いただきました。児童アンケートの結果とともに、斐太北小学校の子どもたちの成長の様子について、報告します。お子さんの様子と照らし合わせながらご覧いただき、２学期も家庭と学校、地域が共にお子さんを育てていくことができるよう、ご支援をお願いします。

児童アンケートの結果

質　問　項　目	肯定的回答%
学習はよく分かりましたか。	93.9
自分に必要な学習(授業中や家庭学習)を選んで行うことができましたか。	87.9
振り返りの中で、学んだことや考えたことを、理由をつけて書くことができましたか。(3･4 年) 振り返りの中で、学んだことや考えたことを、理由をつけて書いたり、次にどう生かすかを書いたりすることができましたか。(5･6 年)	84.8
みらい学習で、自分の課題を見つけて取り組むことができましたか。	83.3
いろいろな人やものとのつながりを大切にしながら、自分の考えを深めたり、広げたりすることができましたか。	84.8
いろいろな学年の友達と協力して活動できましたか。	86.4
友達の気持ちを考えて、声をかけたり、遊んだりしていますか。	87.9
友達や先生、お客様、登下校中に会った人に、進んであいさつをしていますか。	86.4
自分が決めためあてや生活目標を達成できるように取り組みましたか。	77.3
自分のよいところを見つけましたか。	81.8
仲間のよいところを見つけましたか。	89.4
体育の授業で楽しく運動していますか。体育以外の時間も進んで運動していますか。	87.9
元気に過ごすために、早寝早起きをしたり、朝ご飯をしっかり食べたりしていますか。	87.9
メディアのきまりについて、お家の人と１学期に１回は話し合っていますか。	62.1

保護者アンケートの結果

質　問　項　目	肯定的回答%
お子さんは、学習の内容を理解できていますか。	86.4
お子さんは、宿題や自分に必要な学習を、見通しをもって取り組んでいますか。	66.7
お子さんは、友達と遊んだことや友達のよさを家で話していますか。	69.7
お子さんは、友達の気持ちを考えて行動していますか。	80.3
お子さんはいろいろな人に進んであいさつをしていますか。	62.1
家庭学習や生活の場面で、お子さんは自分でめあてを決めて取り組んでいますか。	54.5
お子さんのよさやがんばりを認め、伝えていますか。	98.5
お子さんは進んで運動をしていますか。	74.2
お子さんは、規則正しい生活をしていますか。	84.8
メディアのきまりについて、家庭で１学期に１回は話し合いましたか。	72.7

「学び」を育てる

○　「学習はよく分かりましたか」の項目での児童の肯定的評価、「お子さんは、学習の内容を理解できていますか」の項目での保護者の肯定的評価は、ともに高く、学習に安定して取り組めている様子

見取ることができました。学年間での顕著な差もありませんでした。

○ みらい学習に関する評価項目については、肯定的評価が 95%を超えていました。活動に粘り強く取り組んだり、自分の考えを広げたり深めたりしていけるよう、みらい学習を中核とした教科横断的な教育活動に、2 学期も引き続き取り組んでいきます。

△ 児童の「自分に必要な学習を選んで行うことができましたか」の回答と、保護者の「お子さんは、宿題や自分に必要な学習を、見通しをもって取り組んでいますか」の回答は、肯定的評価に大きな差がありました。斐太北型イエナプラン教育の取り組みは、1 学期の段階では、どの学年もまだ準備段階や、始めたばかりの段階でした。そのため、保護者が判断できなかったことが考えられました。2 学期から本格的に実施する「自分でぐんぐん」の取組を発信していく必要性を感じました。また、家庭学習に対する記録やチェックが十分でなかった可能性も考えられました。

2学期は次の取組を行います

- 9 月 28 日～10 月 16 日にかけて実施する「自分でぐんぐん」の授業を参観していただいたり、学習の様子を家庭にお伝えしたりしていきます。そして、斐太北型イエナプラン教育を核にした、児童が主体的に学ぶ授業づくりや学習改善への取組にご理解いただけるようにしていきます。
- 各学年の実態に応じて、「家庭学習記録表」等を活用して、児童が計画的に、見通しをもって学習したり、振り返ったりできるようにしていきます。家庭学習の取り組みについては、保護者の方にも伝わるように、おたより等を通して説明していきます。
- 自分で選ぶ課題や学習を行った場合は、振り返りの場を設定し、気付きや反省を次の学習に生かせるようにしていきます。

「心」を育てる

○ 協力すること、友達の気持ちを考えて行動することについては、児童、保護者ともに肯定的評価が高かったです。思いやりをもち、友達と適切に関われている子が多いです。

○ 「自分のよいところを見つけた」と回答した児童が 80%以上おり、家庭では「お子さんのよさやがんばりを認め、伝えている」との肯定的回答が多数でした。このことから、保護者からの肯定的な声掛け、お子さんへの励ましが、児童の自己肯定感、自己有用感に大きくかかわっている様子が伺えました。

△ あいさつについての児童の肯定的評価は高いものの、保護者の評価は大きく下回るものでした。例年このような傾向があり、児童にとって、「学校」と「地域や家庭」でのあいさつに対する意識の差が見られています。

△ 自分が決めためあてに向けた取組については、児童、保護者ともに肯定的評価が低かったです。
児童は、いろいろな行事や活動、学習にめあてをもって取り組んでいますが、取り組む中でめあてを忘れてしまったり、意識がうすれてしまったりする可能性が考えられます。めあてに沿って、自分の取組を振り返る場を、学年全体や必要に応じて個別に設定していく必要性があると考えています。

2学期は次の取組を行います

- 1 学期でも取り組んできた、自分や友達の良さやがんばりを認める活動を継続していきます。まず 9 月の ALL 妙高あいさつ運動を通し、地域とあいさつでつながることを意識付けていきます。
- 生活目標や自分で決めためあてと照らし合わせ、自分の生活や取組を見つめ直したり、振り返ったりする場面を定期的に設定しています。子どもたちには、「自分でぐんぐん」などの学習やマラソン記録会などの行事において、立てためあてを家庭でも話題にするように伝えていきます。保護者のみな

さんからは、お子さんのめあてを認めたり、励ましたりしてもらいたいと考えています。

「体」を育てる

○　規則正しい生活についての肯定的評価は、児童、保護者ともに高い結果でした。早寝早起き、朝ご飯が習慣化しています。

△「進んで体を動かしている」との児童の肯定的評価に対して、保護者の評価はやや下回る結果でした。家庭で体を動かして遊ぶ環境や時間の少なさが伺えました。

△ メディアのきまりについての話し合いは、児童、保護者ともに低い結果となりました。7 月に実施した「情報モラル講座」への保護者の参加率が 38%であったことから、メディアとの上手なつきあい方について親子で確認する機会の設定を、より一層、求めていく必要性を感じました。

2学期は次の取組を行います

・ 10 月 5 日（月）～10 月 9 日（金）に予定されているリズムづくりチャレンジ週間では、各家庭で生活習慣やメディア利用の現状を確認したり、見直したりする機会をつくっていきます。
・ 体力テストの結果が返ってきました。その結果を参考にしながら、体育の授業で体力アップを図ったり、委員会主催の体力向上を図る活動を実施したりします。

保護者の皆さんの自由記述から

自由記述にて、学校へのご意見やお気付きの点についてご意見をいただきました。記述内容は、個人情報を考慮し、一部修正しております。ご了承ください。

学校生活・職員との関わりについて

・ 上級生と学習や活動の時間が増えて、先の学習に挑戦したり遊びの幅が広がったりして、とてもいい刺激になっているようです。
（学校より）今年度から始まった低・中・高学年部での活動について、ご感想をいただきました。休み時間には学年を超えて一緒に遊ぶ姿が見られ、関係性が深まっていることを感じています。これからも、授業や活動のねらいを踏まえ、学年ごとに取り組む方が効果的なこと、学年部で取り組む方が効果的なことを見極めながら進めていきます。

・ 宿題を締切を決めて取り組んでいますが、自主学習カードなどのやった事を記録する方法が無いことや、宿題などに対してのコメントが無いため、先生が把握できているのか不安があります。日記にはコメントいただけると子どももやる気が出るのではないかと思います。やらせるだけであれば誰でもできますが、個別の進み具合や頑張りを評価できているのでしょうか。
・ 自学の内容として適切か分からないが、自分で考え頑張って取り組んだことにしっかり対応してほしい。子どものモチベーションを下げないでほしい。
・ 自学や日記も色々と考えながら自宅で熱心に行い毎回しっかりと提出しているようですが、先生の確認印やコメント等無いため頑張りを見てもらえているのかわからず、本人が不満に感じています。
（学校より）家庭学習への取組に目をかけてくださりありがとうございます。一方で、学校での見取りや評価、励ましが十分でないとのご意見、真摯に受けとめました。ご意見をいただいた 1 学期末の時

点で、家庭学習を十分見取れているか、各学年で点検し、改善を図りました。2学期からは、家庭学習記録カードの取組も始まっています。カードと併せて、学習内容をよく見取り、子どもたちが頑張ったことへの賞賛や励ましを伝えられるようにしていきます。

- 家で友達のことを話してくれています。お互いに自分がしたこと、してもらったことを話してくれるようになりました。
- 学校での友達関係が気になります。

（学校より）お子さんの友達関係については、保護者皆さんが気にかけておられることと思います。お子さんによっては、何でも話してくれたり、話してくれなかったりすることもあるでしょう。まずは、お子さんの話をじっくりと聞いてあげてください。そして、気がかりなことや学校の様子についてより詳しく知りたいということがありましたら、お気軽に担任や職員にお伝えください。

- 大人の話を聞く事をしなくなりました。自分で、困らないと、動きません。
- 大人の言う事を、ほぼ聞きません。どうやって言い聞かせたら良いか色々思案しております。

（学校より）お子さんの成長を願い、根気強くお子さんとかかわろうとしている保護者のみなさんの姿が目に浮かびました。お子さんのそういった姿は、成長の過程でこそ見られるものと考えています。

学校では、指示を短く伝える、理由を添える、気持ちをたずねる、選択肢を示して主体性を生かすなど、関わり方を工夫しています。大人が言い聞かせたいことを伝える前に、子どもの言い分、気持ち、できない理由などを聞くことが必要かもしれません。お子さんの気持ちを引き出し、一旦認め、その上で「じゃあ、どうしようか」と一緒に考えていく伴走者の関わりが、特に上学年から必要となってくると言われています。引き続き、学校と家庭で協力しながら見守っていきましょう。

- あいさつは、相変わらず恥ずかしがってしないなと思います。地域の人に進んであいさつをしたり、周りの人に「ありがとう」や「ごめんね」を素直に言ったりできるようになってほしいです。

（学校より）学校も、あいさつを通して人とつながり、豊かな人間関係を築いていく子どもたちになってほしいと願っています。今後も、学校と家庭で協力して、あいさつの大切さを伝えていきましょう。

- 集団下校が成り立たなくなってきている。一人下校になるのではないかと子どもが心配している。同じ方面で一緒に歩いているときに、家の人が車でお迎えにきて一人になったこともあるようだ。

（学校より）集団下校については、児童数減少傾向が進む中、児童クラブの利用や下校途中でのお迎えなどにより、従来のかたちを続けることが難しくなっています。2 学期はじめに、地区ごとの状況を確認し、方面は同じでも他地区との下校に関する情報共有は行っていないことも見えてきました。そこで、一人下校は安全上避けたいという考えを、該当地区の方と改めて共有しました。今後も、各家庭でお迎えや児童クラブの利用などをご検討いただき、地区の保護者同士で相談しながら、無理なく続けられる下校方法を考えていただきたいと思います。個別の事情については、これまで通り学校も相談にのります。地域の安全パトロールは、引き続き低学年を中心に実施していただきます。

- 4 年生の保護者を中心に、授業中うるさくて集中できない、注意してもきかず教職員に対しての暴言や反抗的な態度がある、対応してほしい、モヤモヤしている等のご意見を複数いただきました。

（学校より）ご心配をおかけしております。1 学期から、妙高市教育委員会や専門機関と連携して対応しています。7 月 14 日、9 月 10 日に、4 年生の臨時保護者会を開きました。PTA 会長や CS の方にも参加していただきました。事実を共有し、学校からは、①学校として組織的に全職員で 4 年生の対

応をする②問題となる行為には、組織として明確に対応する③対応の効果を、子ども基準に、「やったか」ではなく「届いたか」で振り返ることをお話ししました。保護者の方からは、自分のお子さんを主語に話をしてもらいました。教室の雰囲気をストレスに感じて保健室に来室する子どもが複数いる状況を踏まえ、4 年生の保護者には、休み時間だけでなく、学習ボランティアとして積極的に授業中のお子さんの様子を見に来てほしいとお願いしました。また、教室内で、社会の中で許されない言葉、人権問題にかかわる言葉が飛び交うこともお伝えし、聞いた相手がどのように感じているのか必ずお子さんと話してくださいとお願いしました。詳細は掲載しませんが、今も組織的な対応を続けています。

メディアとの関わりについて

- 自らメディアの時間が守れるよう家族で話し合い、2 時間を守り頑張っています。今後もメディアについて、一緒に学んでいきたいと思います。
- タブレットでのゲームや YouTube の視聴時間が何回決めてもなかなか良くならない。

（学校より）日頃より、お子さんのメディアとの関わりについて、目を配ってくださりありがとうございます。多くの家庭で同じ悩みがあるのだろうと考えています。そのため、学校では毎年情報教育をテーマとした親子講座を開催したり、リズムづくりチャレンジ週間を実施したりしています。これからの時代は、いかにメディアやデジタル機器、インターネットと上手くかかわり、活用していくかが、子どもたちにとって必要な教育となっていきます。そのためにも、親子でメディアの使い方を一緒に決めることが重要と考えています。学校と家庭で協力しながら、メディアとの上手な付き合い方を育てていきましょう。

〈一人一つ、個人用イヤホンを準備しました〉

「自分でぐんぐん」の学習で使うため、児童一人に一つ、記名したイヤホンを配付しました。5，6 年生は各自で管理し、1～4 年生は決められた場所に保管して、使うときにもっていきます。破損した場合は、各家庭で代わりのイヤホンをご用意ください。100 円ショップ等で販売されているもので結構です。

〈確認とお願い〉

一昨年度からのお願いしている内容ですが、今一度ご確認ください。

① 妙高市の方針により、当校の電話対応は 7 時半から18時までとさせていただきます。それ以外は、自動応答による電話対応となります。緊急の場合は、教育委員会（72－5111）までご連絡ください。
② 児童に関する救急搬送を伴う事故や病気、ケガ等が起こった時は、学校にもお知らせください。土日の場合は、教育委員会から学校へ連絡が入ることになっておりますので、できるだけ早くお知らせください。
③ 事故防止や持ち物管理の点から、緊急性がない場合は放課後の忘れ物の受け渡し対応は行いません。児童クラブにも同様の対応をお願いしています。学校に忘れ物をしないように普段から指導するとともに、忘れ物をした場合の対応について上記のように指導しています。
④ 児童の送迎は、校門からヤギ小屋に向かって一方通行でお願いします。祖父母の皆さんにも共有をお願いします。

以上、この4点において、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

やってみよう！
見つけてみよう！
きっとできる！

斐太北小学校の

一歩上の自分へ

自分でぐんぐん

なぜ「自分でぐんぐん」をするの？

自分でえらぶってたのしい！



それは、みなさんが これからの社会で
たくましく生きていく力をつけるためです。

できた！がふえていく！



1 自分で考える力がつく！

どの教科の、どんな課題を、どの順番でやるかを自分で決めます。自分で考えてえらぶことで、考える力が育ちます。



2 やり抜く力がつく！

自分で立てた計画にそって、取り組みます。うまくいかないことがあっても、工夫しながら進めることで、ねばり強く取り組む力が育ちます。



3 自分をふり返り、さらに成長できる！

やってみたことをふり返って、次にどんなふうにがんばりたいかを考えます。自分でふり返ることで、これからの学びや生活につなげることができます。



こんな力が ぐんぐん そだちます！

- 自分で考え決める力
- ねばり強く取り組む力
- 分からないことを解決する力
- 友達と学び合う力
- 自分の成長をふり返る力

よし！やってみよう！

学ぶっておもしろい！
できるってうれしい！
それが「自分でぐんぐん」

みんなの「やってみたい！」が
未来につながる！

斐太北小学校

保護者の皆さまへ

子どもたちの「やってみたい！」が広がる
これからの学びのために

斐太北小学校の

自分でぐんぐん

子どもたちの
学ぶ姿が、
未来をつくります。

なぜ「自分でぐんぐん」をするの？

変化の激しいこれからの社会では、与えられた課題を正解する力だけでなく、
自ら考え、選び、他者と協働しながら、粘り強く取り組み、未来を切り拓いていく力が求められます。
本校では、単元の中で子どもたちが自分に合った方法・ペースで学びを進める
「単元内自由進度学習」を取り入れた「自分でぐんぐん」に取り組んでいます。
一人ひとりが、学ぶ楽しさを味わいながら、自分の力をのばしていくことをめざしています。

「自分でぐんぐん」で大切にしていること

1 主体的に学ぶ力を育てる

どの教科の、どんな課題を、
どの順番で取り組むかを、
子ども自身が考え、計画します。
自分で選ぶ経験が、
学びへの意欲や自己決定力を
育てます。



2 自分に合った方法とペースで進める

教職員は、一人で学べるように
課題やヒント、教室環境を整え、
必要に応じて相談にのります。
友達との対話や教科書、
ヒントカード、ICTなども活用し、
自分のペースで学びを進めます。



3 学びをふり返り、次につなげる

取り組んだことをふり返り、
できたことや次にがんばりたい
ことを考えます。
この振り返りが、自己理解を深め、
さらなる成長につながります。



教科の組み合わせ

低・中学年（1〜4年生）



高学年（5・6年生）



いつでも学習参観できます

子どもたちが自分で選び、考え、
学び進める様子を、ぜひ実際にご覧ください。
特別な申込みは不要です。
授業のどの時間でも、お気軽にお越しください。

子どもたちの「今の学び」が、未来を生きる力になります。

斐太北小学校